

横須賀のベイサイドを歩く

2020年11月15日（日）

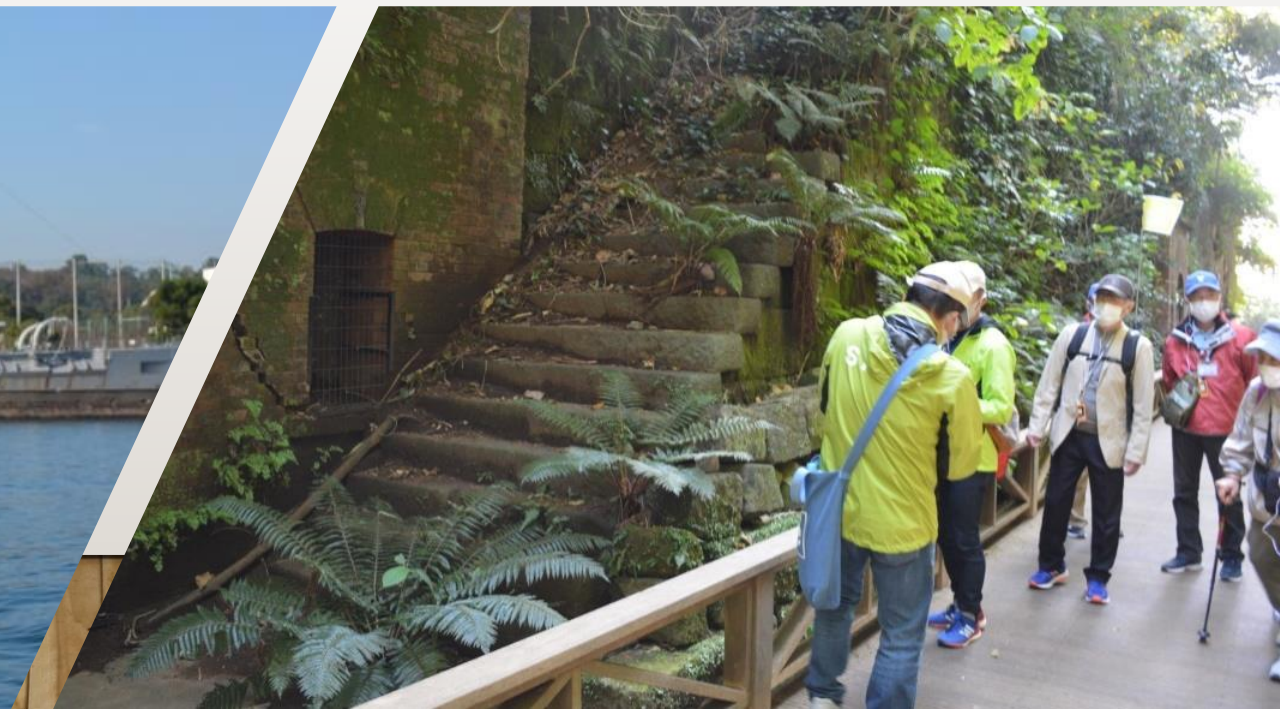
主催：下倉田地区連合会

主管：下倉田地区文化体育部



- JR横須賀駅集合で、どぶ板通り、ベース横須賀、三笠公園までのコースを30分かけて歩きました。三笠公園から猿島までは約10分の連絡船に乗船し、猿島散策では、2名の現地ガイドによる案内で2班に分散して猿島の歴史的価値のある説明を約40分ほど受けました。。コロナ禍でしたが、楽しい一日を過ごすことができました。









フランス積れんがが建造物

Brick building of Fremish bond

日本でのれんがによる建築は、幕末の長崎に始まり、文明開化とともに全国に広がりました。しかし、そのほとんどは地震や老朽化により失われてしまいました。近年の日本建築学会の調査によると、明治20年以前のれんが建築物は、現在、全国で22件が確認されているのみです。猿島の要塞跡もそのひとつで、愛知県産の品質の高い赤れんがを用いて、明治時代中期に建造されました。

ところで、れんがの積み方は、大きくは「フランス積」と、明治20年ごろから主流となった「イギリス積」に分けられます。

この要塞はフランス積によるもので、フランドル地方(ベルギー西部～フランス北端にかけての北海沿岸)



で発達したため、正式にはフル積といえます。

フランス積のれんがが建造ともと数が少なかったこの要塞跡も含めて全国に確認されているのみです。

このように猿島のゾチックな雰囲気から、建築史上といえるのです。

現存するフランス積れんが建造物

